

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年10月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第46期第2四半期（自 2019年6月1日 至 2019年8月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社スタジオアリス |
| 【英訳名】 | STUDIO ALICE Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 牧野 俊介 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪市北区梅田一丁目8番17号 |
| 【電話番号】 | (06)6343-2600 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 宗岡 直彦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪市北区梅田一丁目8番17号 |
| 【電話番号】 | (06)6343-2600 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 宗岡 直彦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第45期 第2四半期連結 累計期間 | 第46期 第2四半期連結 累計期間 | 第45期 |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年3月1日 至2018年8月31日 | 自2019年3月1日 至2019年8月31日 | 自2018年3月1日 至2019年2月28日 |
| 売上高 (千円) | 18,684,024 | 17,659,477 | 39,643,803 |
| 経常利益 (千円) | 1,382,364 | 419,187 | 4,122,629 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(は損失) (千円) | 580,497 | 66,577 | 2,036,832 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 598,148 | 177,457 | 2,103,764 |
| 純資産額 (千円) | 22,834,846 | 23,313,789 | 24,340,461 |
| 総資産額 (千円) | 33,596,810 | 34,433,548 | 34,775,333 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額(は損失) (円) | 34.18 | 3.92 | 119.93 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 64.9 | 64.5 | 66.9 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 3,512,119 | 369,256 | 8,416,173 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 2,485,743 | 3,614,261 | 4,177,841 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 648,522 | 566,981 | 709,846 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 10,112,856 | 9,284,852 | 11,966,157 |

| 回次 | 第45期 第2四半期連結 会計期間 | 第46期 第2四半期連結 会計期間 |
|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年6月1日 至2018年8月31日 | 自2019年6月1日 至2019年8月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 40.20 | 3.58 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第46期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第45期第2四半期連結累計期間及び第45期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

（1）経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調である一方、海外経済の不確実性や米中貿易摩擦問題等、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,659百万円（前年同期比5.5%の減少）、営業利益は419百万円（前年同期比69.5%の減少）、経常利益は419百万円（前年同期比69.7%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は66百万円（前年同期は580百万円の親会社に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（写真事業）

写真事業は、5月から開始した「早撮り七五三キャンペーン」および「七五三お出かけ着物レンタル予約」施策を推進するとともに、新元号「令和」への改元を記念した「令和記念赤ちゃんスマイルキャンペーン」や、映画「アラジン」、「トイ・ストーリー4」、「ライオン・キング」の公開に合わせた期間限定のディズニーキャンペーンを実施し、更なる撮影件数の獲得に努めました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転8店舗を含み11店舗出店、退店10店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を36店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館505店舗（直営店舗495店・フランチャイズ店舗10店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、507店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は17,547百万円（前年同期比5.8%の減少）となり、セグメント利益は459百万円（前年同期比70.0%の減少）となりました。

（衣装製造卸売事業）

衣装製造卸売事業は、成人振袖レンタル事業の更なる売上規模拡大に向けて7月に神戸ハーバーランドumie内に新規出店するなどし、受注件数の獲得に努めました。また、前年度に開設した国内和装縫製工場において、当社向け衣装の生産を本格的に進めてまいりました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,115百万円（前年同期比12.3%の増加）となり、セグメント利益は125百万円（前年同期比174.2%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ341百万円減少の34,433百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,062百万円減少の14,146百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産「その他」に含まれている投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,720百万円増加の20,287百万円となりました。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ684百万円増加の11,119百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ537百万円増加の6,999百万円となりました。固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ147百万円増加の4,120百万円となりました。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,026百万円減少の23,313百万円となりました。これは主に、前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,681百万円減少し9,284百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、369百万円（前年同期は3,512百万円の増加）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益118百万円、減価償却費1,635百万円、前受金の増加額351百万円、法人税等の支払額950百万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、3,614百万円（前年同期は2,485百万円の減少）となりました。主な内訳は、写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,618百万円、投資有価証券の取得にかかる支出1,012百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、566百万円（前年同期は648百万円の増加）となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額1,300百万円、配当金の支払額849百万円などによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,888,000 |
| 計 | 30,888,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年8月31日) | 提出日現在発行数(株) (2019年10月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|------------|
| 普通株式 | 17,185,650 | 17,185,650 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 17,185,650 | 17,185,650 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2019年6月1日～ 2019年8月31日 | - | 17,185,650 | - | 1,885,950 | - | 2,055,449 |

(5) 【大株主の状況】

2019年8月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------------------|-----------------|---------------|-----------------------------------|
| (株)トーランス・ジャパン | 大阪市西区北堀江2-11-15 | 3,962 | 23.33 |
| 富士フイルム(株) | 東京都港区西麻布2-26-30 | 3,445 | 20.28 |
| 本村 昌次 | 大阪府吹田市 | 512 | 3.02 |
| スタジオアリス従業員持株会 | 大阪市北区梅田1-8-17 | 376 | 2.22 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) | 東京都港区浜松町2-11-3 | 230 | 1.36 |
| 山本 滋 | 大阪府吹田市 | 201 | 1.19 |
| (株)三菱UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2-7-1 | 195 | 1.15 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) | 東京都中央区晴海1-8-11 | 192 | 1.13 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5) | 東京都中央区晴海1-8-11 | 187 | 1.11 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9) | 東京都中央区晴海1-8-11 | 142 | 0.84 |
| 計 | - | 9,446 | 55.62 |

(注) 1. 上記日本マスタートラスト信託銀行(株)、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)の所有株式数は、全て信託業務に係るものであります。

2. 上記のほか、自己株式が201千株あります。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年8月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|--------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 201,400 | - | 単元株式数 100株 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 16,966,100 | 169,661 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 18,150 | - | 1単元(100株) 未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 17,185,650 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 169,661 | - |

【自己株式等】

2019年8月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (株)スタジオアリス | 大阪市北区梅田 1-8-17 | 201,400 | - | 201,400 | 1.17 |
| 計 | - | 201,400 | - | 201,400 | 1.17 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,426,638 | 9,745,333 |
| 受取手形及び売掛金 | 758,476 | 1,008,438 |
| たな卸資産 | 1,658,869 | 1,478,054 |
| その他 | 1,396,405 | 1,954,639 |
| 貸倒引当金 | 31,855 | 40,235 |
| 流動資産合計 | 16,208,533 | 14,146,230 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,250,025 | 8,767,702 |
| その他(純額) | 4,371,613 | 4,574,406 |
| 有形固定資産合計 | 12,621,638 | 13,342,108 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 1,307,295 | 1,320,277 |
| 敷金及び保証金 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,408,898 | 3,401,219 |
| その他 | 1,459,030 | 2,453,775 |
| 貸倒引当金 | 230,063 | 230,063 |
| 投資その他の資産合計 | 4,637,865 | 5,624,931 |
| 固定資産合計 | 18,566,800 | 20,287,317 |
| 資産合計 | 34,775,333 | 34,433,548 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 226,260 | 278,009 |
| 短期借入金 | - | 1,300,000 |
| 未払法人税等 | 1,180,231 | 343,723 |
| 賞与引当金 | 129,858 | 277,117 |
| その他 | 4,925,746 | 4,800,424 |
| 流動負債合計 | 6,462,096 | 6,999,274 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,046,810 | 1,079,372 |
| 資産除去債務 | 1,679,836 | 1,680,496 |
| その他 | 1,246,126 | 1,360,615 |
| 固定負債合計 | 3,972,774 | 4,120,484 |
| 負債合計 | 10,434,871 | 11,119,758 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,885,950 | 1,885,950 |
| 資本剰余金 | 2,055,449 | 2,055,449 |
| 利益剰余金 | 19,505,786 | 18,590,000 |
| 自己株式 | 276,152 | 276,159 |
| 株主資本合計 | 23,171,033 | 22,255,240 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | - | 95,698 |
| 為替換算調整勘定 | 100,548 | 53,065 |
| その他の包括利益累計額合計 | 100,548 | 42,632 |
| 非支配株主持分 | 1,068,880 | 1,101,181 |
| 純資産合計 | 24,340,461 | 23,313,789 |
| 負債純資産合計 | 34,775,333 | 34,433,548 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2 18,684,024 | 2 17,659,477 |
| 売上原価 | 13,601,021 | 13,619,156 |
| 売上総利益 | 5,083,002 | 4,040,321 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 3,707,660 | 1 3,620,944 |
| 営業利益 | 1,375,342 | 419,376 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,072 | 1,100 |
| 受取家賃 | 9,705 | 11,175 |
| 受取補償金 | 17,130 | 16,622 |
| 雑収入 | 16,218 | 12,366 |
| 営業外収益合計 | 44,127 | 41,264 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,933 | 7,994 |
| 店舗解約損 | 11,499 | 26,651 |
| 為替差損 | 9,641 | 2,605 |
| 雑損失 | 9,030 | 4,202 |
| 営業外費用合計 | 37,105 | 41,454 |
| 経常利益 | 1,382,364 | 419,187 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 229 |
| 特別利益合計 | - | 229 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 153,062 | 171,529 |
| 減損損失 | 148,847 | 128,976 |
| 特別損失合計 | 301,909 | 300,506 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,080,454 | 118,911 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 392,925 | 235,434 |
| 法人税等調整額 | 68,928 | 82,247 |
| 法人税等合計 | 461,854 | 153,187 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 618,600 | 34,275 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 38,102 | 32,301 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失() | 580,497 | 66,577 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 618,600 | 34,275 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | - | 95,698 |
| 為替換算調整勘定 | 20,452 | 47,483 |
| その他の包括利益合計 | 20,452 | 143,181 |
| 四半期包括利益 | 598,148 | 177,457 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 560,045 | 209,758 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 38,102 | 32,301 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,080,454 | 118,911 |
| 減価償却費 | 1,534,069 | 1,635,731 |
| のれん償却額 | 4,890 | 399 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 13,536 | 8,380 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 149,102 | 147,259 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 36,827 | 32,561 |
| 受取利息 | 1,072 | 1,100 |
| 支払利息 | 6,933 | 7,994 |
| 為替差損益(は益) | 310 | 657 |
| 固定資産廃棄損 | 153,062 | 171,529 |
| 固定資産売却損益(は益) | - | 229 |
| 減損損失 | 148,847 | 128,976 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 238,183 | 268,590 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 158,603 | 155,137 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 58,549 | 52,343 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 450,046 | 1,086,288 |
| 前受金の増減額(は減少) | 132,322 | 351,422 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 281,284 | 384,241 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 387,396 | 246,262 |
| その他 | 48,937 | 12,241 |
| 小計 | 3,551,013 | 1,328,044 |
| 利息の受取額 | 2,076 | 71 |
| 利息の支払額 | 6,933 | 7,994 |
| 法人税等の支払額 | 36,898 | 950,865 |
| 法人税等の還付額 | 2,861 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,512,119 | 369,256 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,068,403 | 2,229,921 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 230 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 360,695 | 279,666 |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | 1,012,211 |
| 貸付金の回収による収入 | 600 | 600 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 96,668 | 108,592 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 77,700 | 64,598 |
| その他 | 38,276 | 49,297 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,485,743 | 3,614,261 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,300,000 | 1,300,000 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 704,492 | 798,100 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 506,589 | 681,904 |
| 自己株式の取得による支出 | 168 | 6 |
| 配当金の支払額 | 849,211 | 849,208 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 648,522 | 566,981 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,769 | 3,281 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,673,129 | 2,681,304 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,439,726 | 11,966,157 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,112,856 | 9,284,852 |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 商品及び製品 | 366,412千円 | 308,651千円 |
| 仕掛品 | 237,649 | 216,843 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,054,807 | 952,560 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日) |
|----------|---|---|
| 給料手当 | 734,142千円 | 717,057千円 |
| 退職給付費用 | 15,447 | 17,966 |
| 広告宣伝費 | 1,838,417 | 1,761,782 |
| 減価償却費 | 70,114 | 67,991 |
| のれん償却費 | 4,890 | 399 |
| 貸倒引当金繰入額 | 83 | 13,714 |

2 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日 至2018年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

当社グループの写真事業では、主として第3四半期の撮影機会(七五三等)が多いため、通常、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ、著しく高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 10,573,320千円 | 9,745,333千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 460,464 | 460,481 |
| 現金及び現金同等物 | 10,112,856 | 9,284,852 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日 至2018年8月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年5月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 849,211 | 50 | 2018年2月28日 | 2018年5月30日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年5月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 849,208 | 50 | 2019年2月28日 | 2019年5月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日 至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|---------------------------|------------|----------|------------|-------------|---------------------------|
| | 写真事業 | 衣装製造卸売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,620,095 | 63,928 | 18,684,024 | - | 18,684,024 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 12,615 | 929,594 | 942,210 | 942,210 | - |
| 計 | 18,632,711 | 993,522 | 19,626,234 | 942,210 | 18,684,024 |
| セグメント利益 | 1,531,167 | 45,780 | 1,576,948 | 201,605 | 1,375,342 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 201,605千円には、固定資産の調整額等 93,625千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 107,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては148,847千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|---------------------------|------------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| | 写真事業 | 衣装製造卸売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,533,887 | 125,590 | 17,659,477 | - | 17,659,477 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 13,783 | 990,195 | 1,003,978 | 1,003,978 | - |
| 計 | 17,547,671 | 1,115,785 | 18,663,456 | 1,003,978 | 17,659,477 |
| セグメント利益 | 459,441 | 125,521 | 584,963 | 165,586 | 419,376 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 165,586千円には、固定資産の調整額等 53,529千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 112,056千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては128,976千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日) |
|--|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() | 34円18銭 | 3円92銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円) | 580,497 | 66,577 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 580,497 | 66,577 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 16,984 | 16,984 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月9日

株式会社スタジオアリス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千崎 育利 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥村 孝司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタジオアリスの2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタジオアリス及び連結子会社の2019年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。